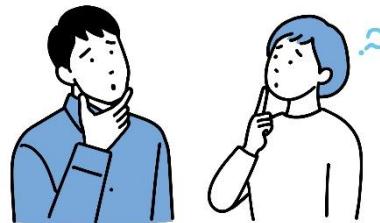


# 2025年 JAC外国人共生講座

## やさしい日本語講座 応用編 2

### Q & A集

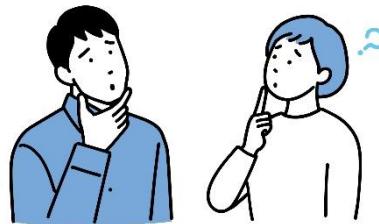


わかりましたか？と聞くといつも「分かりました。」という返事が返ってきます。本当に理解できているか確認するためにはどうしたらいいでしょうか。

理解したことを、自分の口からもう一度リピートしてもらうようにします。時間はかかりますが、聞き取れていなかった部分が明確になるのでミスが防げます。

また、文章を作ってリピートするのがまだ難しい方もいらっしゃいます。その場合は「何時に集まりますか？」「どこに集まりますか？」など、質問形式で尋ねる方法もおすすめです。





日本語を話すこと・読むことには困っていませんが、書けない場合はどのような勉強をしたらいいでしょうか。

JLPTや技能検定などでは書く力はテストされないので、どうしても他の技能と比べて劣ってしまいがちです。

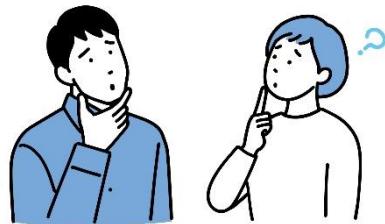
まずはお仕事する上で必要な事柄に絞って取り入れてみてはいかがでしょうか。早くから日報を取り入れられているケースもございます。

「今日会社で話したこと」「SNSで見たこと」など、テーマを決めて毎日短い文を書くのもおすすめです。また、昨今は手書きにこだわらず打ち込みができれば良いという考え方もございます。

手書きが苦手でもスマホによる文字入力は得意な方もいらっしゃいます。

なお、漢字につきましては『日本語教育の参考枠 漢字を含む文字の取り扱いについて（P66）』をご参照ください。





歌を歌いながら仕事をする方がいます。文化の違いなのでしょうか。

仕事中に歌を歌う方はいらっしゃいます。

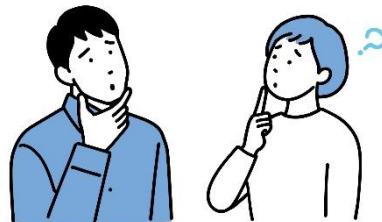
母国では当たり前の光景ですので悪気はないそうです。

「作業に集中してほしいので仕事中は歌わないでください。集中しないとミスが起こります。ミスが起こるとお客様からクレームが来ます」など、しっかり理由を説明します。

また、仕事中にイヤホンで音楽を聞くのが当たり前な国もあります。

いずれの場合も職場のルールを説明するとともに、他の従業員に対してもルールを徹底していただくことが重要となります。





体調を伝えるための日本語について、医者と話す際に適切な日本語が言えません。学校で習っていないのでしょうか。

例えば排泄に関する日本語について、中級学習者でも「おしっこ」や「うんこ」という表現しか知らない方が多いです。

どこかで覚えた言葉をそのまま使っているだけで、それが場に適しているかどうかまで把握して使っている学習者は少ないです。病院や健康診断などの場面では「尿」「便」といった言葉が適切なので「こういう場ではこう言うといいですよ」と必ず教えるようにしています。その後は丁寧な言い方を好んで使う学習者が多い印象です。



**BREXA**  
CROSS BORDER